

作成日 2006/01/06

改訂日 2018/07/03

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	無水重亜硫酸ソーダ
製品コード	1105110101001
整理番号	kisoka785-9
供給者の会社名称	日産化学株式会社
住所	東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング
担当部門	化学品事業部 基礎化学品営業部
電話番号	03-4463-8140
FAX番号	03-4463-8138
緊急連絡電話番号	03-4463-8140

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体 区分外 自然発火性固体 区分外 自己発熱性化学品 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康有害性	酸化性固体 区分外 急性毒性（経口） 区分4 急性毒性（経皮） 区分外 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 生殖毒性 区分外
環境有害性	特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（気道刺激性） 水生環境有害性（急性） 区分3 水生環境有害性（長期間） 区分3 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H318 重篤な眼の損傷
H302 飲み込むと有害
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き 安全対策

粉じん、ヒュームの吸入を避けること。(P261)
保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)

応急措置

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

	気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
	口をすすぐこと。(P330)
保管	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)
	施錠して保管すること。(P405)
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の別別 単一製品

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
重亜硫酸ナトリウム	95.0%以上	Na ₂ S ₂ O ₅	(1)-502	既存	7681-57-4

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 二亜硫酸ナトリウム（法令指定番号：412）（95%）

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。外観に変化が見られた場合は、必要に応じて医師の診断をうけること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	直ちに医師に連絡すること。水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。風上に留まる。低地から離れる。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 眼との接触を避けること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

**接触回避
 衛生対策** 『10. 安定性及び反応性』を参照。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件 保管場所には、危険物を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
 『10. 安定性及び反応性』を参照。
 酸化剤から離して保管する。
 炎及び熱表面から離して保管すること。
 冷所、換気の良い場所で保管すること。
 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
重亜硫酸ナトリウム	未設定	未設定	TWA 5 mg/m ³ , STEL -

設備対策 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
 粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 換気が不十分な場合には、指定された呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具 ゴム手袋など、適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）。
皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。
 保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 固体
形状 固体
色 白色
臭い 特有な刺激臭
臭いのしきい(閾)値 データなし
pH 情報なし
融点・凝固点 150°C (融点) (分解し二酸化イオウを発生) (SIDS, 2001)
沸点、初留点及び沸騰範囲 該当しない。 (SIDS, 2001) 加熱により分解し、Na₂SO₄を形成する。 (Sax, 11th, 2001)
引火点 引火せず
燃焼性(固体、気体) 不燃性 (Weiss, 2nd, 1986)
燃焼又は爆発範囲
下限 該当しない。
上限 該当しない。
蒸気圧 該当しない。 (SIDS, 2001)
蒸気密度 該当しない。 (SIDS, 2001)
比重(密度) 1.4 g/cm³ (15°C) (SIDS, 2001)
溶解度 470 g/L (0°C) (SIDS, 2001)
n-オクタノール/水分配係数 log Pow = -3.7 (25°C) (SIDS, 2001)
自然発火温度 不燃性 (Weiss, 2nd, 1986)
分解温度 融点(150°C)を超えると分解し、酸化されて二酸化イオウを発生する。(SIDS, 2001)

粘度（粘性率）	データなし
動粘性率	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	空気及び湿気によく露すると徐々に硫酸塩へと酸化される。加熱により分解し、硫酸ナトリウムを形成する。
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	還元剤、酸化剤や強酸との接触に注意する。
避けるべき条件	高温を避ける。
混触危険物質	酸化剤、強酸
危険有害な分解生成物	燃焼の際は、一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物、酸化ナトリウムなどが生成される。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	ラットのLD50値として1,540 mg/kg (SIDS (2001)、(EPA Pesticides (2007))) に基づき区分4とした。なお、他にLD50値として1,131mg/kg (EPA Pesticides (2007))、2,480 mg/kg (SIDS (2001)) がある。
経皮	ラットのLD50値> 2,000 mg/kg (EPA Pesticides (2007)) に基づき、区分外とした。今回の調査で入手したEPA Pesticides (2007) のデータに基づき、区分を見直した。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	SIDS (2001) ではウサギを用いた眼刺激性/腐食性試験 (OECD TG 405 準拠) において、「刺激性。眼に重篤な損傷の危険性」との結果から、「眼刺激性物質である」と結論している。また、本物質は、EU DSD分類において「Xi: R41」、EU CLP分類において「Eye Dam. 1 H318」に分類されている。以上の情報に基づき区分1とした。旧分類の分類根拠に使用していたデータ「ECETOC TR 66」は、記載が遅れなかった。新しく得られた情報に基づき分類を見直した。
皮膚感作性	データなし
生殖毒性	ラットの多世代試験 (ACGIH (7th, 2001)、IARC 54 (1992)、SIDS (2001))、ラット、ウサギの発生毒性試験 (SIDS (2001)) において生殖毒性、発生毒性がみられないことから区分外とした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	ヒトにおいて、喉の炎症を引き起こすとの記載 (HSDB (Access on September 2013)) やマウスにおいて上部呼吸器への刺激がみられた (ACGIH (7th, 2001)) ことから区分3 (気道刺激性) とした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	甲殻類（オオミジンコ）48時間EC50：88.76mg/L (SIDS, 2004) 藻類 (Scenedesmus subspicatus) による72時間EC50=48.1 mg/L (SIDS, 2004) であることから、区分3とした。
水生環境有害性（長期間）	慢性毒性データを用いた場合、本物質は無機化合物で、水中での挙動が不明であり、甲殻類（オオミジンコ）の21日間NOEC > 10 mg/L (SIDS, 2004) であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、本物質は無機化合物で、水中での挙動が不明であり、藻類 (Scenedesmus subspicatus) による72時間EC50=48.1 mg/L (SIDS, 2004) であることから、区分3となる。以上の結果を比較し、区分3とした。
生態毒性	情報なし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体はその処理を行なっている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	特になし
UN No.	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable

航空規制情報	特になし
UN No.	該当しない

国内規制

陸上規制	特になし
海上規制情報	特になし
国連番号	該当しない
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	特になし
国連番号	該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
水道法	有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）
労働基準法	疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）
食品衛生法	食品添加物

16. その他の情報

参考文献	16112の化学商品、化学工業日報(2012)
その他	この情報は新しい知見により改訂されることがありますのでご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については、使用者において行ってください。